
スマイル！

真海

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマイル！

【Nコード】

N1319B

【作者名】

真海

【あらすじ】

人生に嫌気がさしている、青年なりたしゅつ成田笑。いじめられっこの笑にある日突然、転校生という光が差し込んでくる。この二人の性格は対象ゆえに。。。転校生によって変えられる笑。笑によって変えられる転校生。青春が生んだ人生の分かれ道を描いた小説！

出会い

1 プロローグ

『人が笑ってる姿が

好き』

1996年：夏明け。秋と呼ばれる季節が来た。

しか

し、未だ夏を感じさせる蒸し暑い日が続く。

時刻は8時を指し

ている。階段を昇る足音が聞こえる。だんだんしだいに音は大きく

なる。バタンツ！「ショウ！！いつまで寝てるの！！遅刻する

よ！」若い女性が元気な声で、寝癖のついた青年を起こす「う

…わかってるって」

青年の反応を見て、若い女性は溜息をついてから、下の居間に戻っていった。

『毎日、何やってんだろう？』と、自分の人生に嫌気をさしながら

らも、布団から出ては、制服に着替えた。『俺は何したいんだ？』

ただ、なんとなく過ごす毎日。『また、今日もいつもと同じ日々が

あるだけなんだろうな。』と、思いながら支度をする。しかし、

この青年の人生は、一人の青年と一人の少女によって変えられるのをまだ彼が知る由もない。

2 転校生

太陽がキラキラ照りつ

ける中、走りながら腕時計を見つめる青年がいた。

彼は、数十分前まで布団にいて、若い女性に起こされていた青年だ。彼の名前は 成田 笑（なりた しょう）。

姉と二人で暮らしている。

若い女性というのも実は、笑の姉、成田 なりた 笑美 えみ。親はなぜだろうか

『笑』と、どうしても付けたかったらしい。

笑は17歳

の高三。笑美は21歳の大学生。両親が死んだのは2年前で車の衝突事故で、45歳という若さで亡くなった。笑は、学校でいじめられている。だから、笑は学校に行くのが嫌だったが、姉に迷惑かけまいと、楽しいフリをしている。　「はあ。。。」

すでに30分の遅刻だ。

だが、今日は始業式で、あまり影響がない。

笑は、体育館に向かわずに教室に直接行った。

落書きされた机に鞆を置き、座っていると、しばらくしない内にクラスの皆の声が近づいてくる。　下品な声・・・聞きた

くない連中の声。自然に胸がバクバクする。　「来るな！」

と、心の声で叫ぶのも虚しく、下品な声がこちらに向けられる。

「よう！ヘナチヨコ！まだ生きてんのか！？お前の顔見ると吐き気がする。今すぐ帰れよ！」

だが、笑には勇気がなかった。何も言えない。。。と、　「黙ってんなよ！」

と、髪を捕まれた。笑もなんとか抵抗しようともがくが、かすりもしなかった。　「はあ。。。俺は何の為に生きてるんだ？」そ

んな疑問が心に響く。と、　「やめなよ！！成田君、嫌がつてるじゃない！」

と、どこから声が聞こえた。

その声は、学校のマドンナこと、中野なかの 宏美ひろみだった。　とは言っても、一応、笑の幼なじみである。　いつからだろうか。

自分が成田君と呼ばれるようになったのは。。。前までは笑って呼んでいたのに。。。知らない内にあの連中は立ち去ってた。

「大丈夫？ホンツと最悪な連中ね！」

と、宏美は鼻を鳴らす。そんな宏美の横顔を見て、『やっぱり、前とは全然変わってないな』と、心の中で思った。　「今日は、転校生が来るみたい。可愛い子だったらいいね。成田君」

と。笑に嫌味で言っているのか、本当に心から言っているのかはわ

からない。「いつから成田君なんて呼ぶようになったんだ？」

「さあ？ 忘れた」

と、宏美はとぼけた顔で流す。

宏美とは幼稚園からの付き合いだが、高校生になってから会話を交わすことが無かった。高一、高二では別のクラスで会うことも少なかった。そして、高三。。。久しぶりの同じクラス。しかし、しばらく見ない内に大人の美貌と性格になった宏美に話し掛けることがどうしてもできないままだった。ガラガラ。扉の開く音がした。皆はすぐさま席に着いた。熱血教師 山田^{やまだ} 仁^{ひとし}だ。自己中心的な性格ゆえ皆から嫌われてる。「えー・・・新しい学期が始まって・・・」

また、山田の長い話しが始まったと皆、苦渋の顔を浮かべる。「・・・では、今日からこのクラスに新しく入る転校生がいます。・・・入ってきなさい。」

笑は「あゝあ。転校生も可愛そうに。。。山田の長い話しで、ずっと待たされてたんだな。気の毒に。」

と、言ってる間に転校生の姿が見えた。整った顔、適度に付いた筋肉。いわゆるイケメン。「では、名前を皆に伝えて。」

山田の言葉を後に、転校生は声を発した。「春木。春木 龍

(はるき りゅう)です。」

名前も、かっこいいと、笑は思った。

縁の無い

相手だろうなと思った。そう、今は。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1319b/>

スマイル！

2011年1月19日07時56分発行